



# アンコールクライマーズネット (ACN) ニュースレター

by Angkor Climbers net

アウトドア総合ブランド (株) モンベル、アウトドアギヤ輸入販売 (株) ロストアローより賛同・支援をいただいています。

<http://www.angkorclimbers.net/>

2012/8/31 第10号

## シムリアプ・ユース・クライミング・フェスティバル開催計画



*Training Competition@AW, 2012/7/8 Sunday*

*Winner: Sor Sayha (Male), In Tevy (Female)*

2012年7月8日に行ったノンスポンサー、ノンタイトルの内輪トレーニングコンペで、終了後AWの前に全員集合。この日は、学校の進級試験が近く、出られない子が多かった。

## シムリアプ・ユース・クライミング・フェスティバル(略称:YCF)

開催期日: 2012年10月21日 ~ 12月23日

場所: アンコールクライミングウォール/シムリアプ/カンボジア

主催 アンコールクライマーズネット [www.angkorclimbers.net](http://www.angkorclimbers.net)

カンボジアクライミング連盟

運営: YCF 開催実行委員会(SCOYCF)



★お問い合わせは、お気軽にこちらへ : [ycf@angkorclimbers.net](mailto:ycf@angkorclimbers.net)

## YCF開催の主旨

2010年2月、私たち Angkor Climbers Net (ACN) は、内戦後復興に向かうカンボジアの子供たちにクライミングで、生きがいを見つけてもらおうと日本の友人たちの協力を得て、シェムリアップ市にカンボジアで初めての本格的なクライミング用の人工壁を作った。この人工壁 Angkor Climbing Wall (以下、AW と呼ぶ) は、これまで、約 800 人のカンボジア人、300 人の外国人に利用されている。また、昨年10月から今年の1月までの毎日曜日に近隣の中高校生を対象にクライミング・ワークショップをシリーズで開催した。その中から、20人ほどがクライミングの継続を希望し、現在、更に高い技術を目指して AW で練習を重ねている。

本年1月、私たちは初めての国際ルールに準拠したコンペ、アンコールカップ 2012 を開催した。そして、本年後半はワークショップからコンペまでの一連の流れをまとめ、一般の方からの支援と体験参加も促進したトータルイベント、YCFを開催する。期間中には、誰でも自由に参加できる様々なイベントを実施する。クライミングは自立心や決断力、想像力の成長を子供たちにもたらし、健康な体とフェアな精神を育てるのに大きく寄与すると私たちは考えている。今回、フェスティバルとしての集中活動を通じて、クライミングをさらに広くカンボジアの人々に知って欲しい。招待校の枠も昨年より広げる予定だ。またそういった活動の今後のモデルケースにもしたい。しかし私たちだけでは非力であり、その実現には、様々な人々の協力が不可欠だ。どうかみなさんのご協力、ご理解をいただきたい。

### ●後援団体

ー 現在、下記の団体からの後援が内定している

- ・(カンボジア) カンボジアオリンピック委員会(NOCC)、シェムリアップ州教育青年スポーツ局(DoEYS)、シェムリアップ州
- ・(日本) 日本勤労者山岳連盟(JWAF)、日本山岳協会(JMA)、東京新聞、山と溪谷社

### ●協賛団体

ー 現在、下記の団体からの協賛が内定している

- ・(カンボジア他) モロッポーカーフェ、ローユーユー・ポッターリーセンター、プロロンクマエ・ウィービング・トレーニングセンター、アントレプリーズ・アジア(香港)、シンガポール・クライマーズ・アソシエーション(シンガポール)、
- ・(日本) モンベル、ロストアロー、パウダーガイド社、クライミングセンター・アートウォール、クライミングジム・ビッグロック、佐久平ロッククライミングセンター

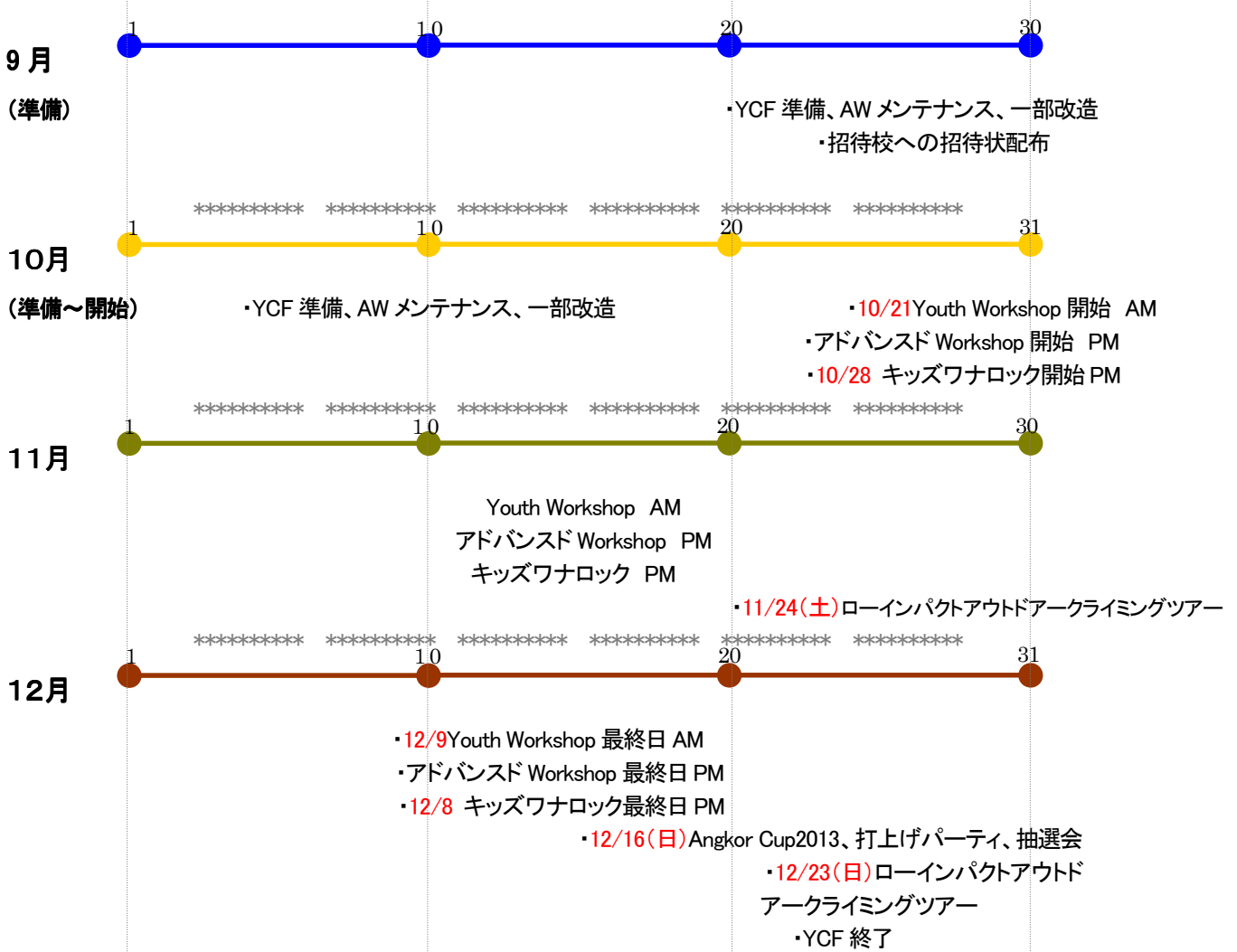


EP, world leader in climbing walls



どなたでも参加できます！！ アンコールワットやトンレサップ湖観光のついでにお寄りください

・日程



・イベント概要 参加ご希望の方はお気軽にこちらへ: [ycf@angkorclimbers.net](mailto:ycf@angkorclimbers.net), tel. +81-(0)90-4612-0884

★ イベント日程と概要 ★

NO.	イベント	日程	体験参加者への支援のお願い	備考
1	ユース・ワークショップ体験参加@人工壁	10月21日～12月9日までの毎日曜日、午前半日	施設利用料、レンタル料金(ギヤレンタルされる方のみ)、子供たちの飲料代、子供たちの交通費	
2	アドバンスド・ワークショップ@人工壁、ゲスト講師による講習会	10月21日～12月9日までの毎日曜日、午後半日	施設利用料、レンタル料金(ギヤレンタルされる方のみ)、受講料	実施予定はWebサイト、及びAW現地に掲示
3	子供クライミングセッション“キッズワナロック”	10月21日～12月9日までの毎土曜日、夕方2時間		
4	カンボジアの外岩体験(低年齢向け)	11月24日、全日	バスチャーター費用、子供たちの昼食代、お寺とコミュニンへの寄付	参加人数制限あり
5	コンペ『AngkorCup 2013』に体験参加@人工壁	12月16日、全日	子供たちの昼食代、飲料代、子供たちの交通費、終了後に行う抽選会への出典、参加料	参加人数制限あり
6	カンボジアの外岩体験	12月23日、全日	バスチャーター費用、子供たちの昼食代、お寺とコミュニンへの寄付	参加人数制限あり

## 新年度体制 2012年度(2012/7/1~2013/6/30)

2012年度より、ACNの現地執行部門を明示的に「ACNカンボジア」と呼び、日本側支援部門を「ACN日本」と呼ぶ。以下、「ACNカンボジア」の新体制を紹介する。

2011年4月～6月の見習いを終えたメサ(18才)が、前年度2011年7月インストラクター・アシスタントとなった。これでキムスロイを入れて、AWでビジターに対応するスタッフは3人となった。さらに、2012年5月～6月には、2名のYOUTH(パン・モニ18才、イン・テビィ18才)が、ACNインストラクター研修生(インターン)としての見習い期間を終え、2012年7月より正式な研修生となった。モニィはメサを手伝うインストラクター候補、テビィはキムスロイを補佐し、ビジター受付管理、ストア管理を担当する。

### ●管理業務の移行

ACNには、下記の定常管理業務が存在する。これまで、これらの管理業務はすべて「ACN日本」・伊藤忠男が担当してきた。しかし、すべてをカンボジア人(ACNカンボジア)で主体的に担うことが達成したいゴールの一つである。

1. 財務会計管理
2. AW利用者管理
3. 資源(備品・資材)管理
4. AW保守管理
5. クライマー育成管理
6. 広報管理
7. 人事管理

以上のうち、本年度は以下の4点の業務移行を行う。



#### (1) 財務会計管理の移行

前々年度よりキムスロイへ指導を開始したが、前年度はさらに一步踏み込んだ。結果、決算処理が大変複雑になってしまったが、過渡期と捉えれば止むを得ない。担当のキムスロイにはPCを貸与し、PCスクールへ通うように指導した。成果はわずかだが、上がっている。今年度も継続。

#### (2) AW利用者管理/「受付事務」の移行

2012年5月よりインターンとして採用したテビィが担当。

#### (3) 資源管理(備品、資材) / 「ストア管理」の移行

前記同様、これもテビィが担当。

#### (4) 人事管理/「労務管理」の移行

前年度末にスムロンに解説。スタッフ全員の「Job Discription: 業務規定」の理解と同意、月報として各自の「Joblog: ジョブログ」の提出をまとめ、ACN日本・代表理事・伊藤忠男へ提出することを取り決めた。2012年7月より開始した。

### ACNカンボジア・スタッフ体制

NO.	NAME	STATUS	給与	memo
1	SEM SARORN(スムロン)	理事、ACN ディレクター、AW 管理責任者	○	CCF 事務局長
2	SRY KIMSROY(キムスロイ)	AW インストラクタ、Manager	○	
3	KHEOM MESA(メサ)	AW インストラクタ	○	
4	PANMONY(モニィ)	AW インストラクタ・インターン	○	※奨学金停止
5	IN TEVY(テビィ)	AW インストラクタ・インターン	○	※奨学金停止
6	伊藤明子	戦略顧問	—	11月まで常駐
6	高木智子	運営顧問	—	テンポラリー
7	伊藤忠男	代表理事、ACNカンボジア・スーパーバイザー	—	テンポラリー

### ●ログ

現在、AWには下記のログ・ノートを用意している。利用者は例外なく(ACNスタッフ及び関係者すべてにおいても)いずれかのログに名前、日時、訪問目的などを記入しなければならない規則となっている。

- ・一般ビジターズノート : 一般利用者用
- ・YOUTHトレーニングログ : YOUTH、及びACNスタッフ用
- ・メンテナンスノート : スタッフ専用
- ・フリークマエノート : 18才以下の一般クメール人ビジター専用
- ・ワークショップ参加者ノート : ※ワークショップ開催時のみ

!!注意!!

日本から来られたボランティアの方でも、AWに来られたときは必ずログノートにご自身で記録を残すようにお願いします!!

●AW利用料(利用者寄付お願い額)を、本年度7月1日より改訂、AWゲートにお願いのバナーを掲示中です(英文のみ)  
 バナーの文言で、料金改訂とAW再生についてのカンパをお願いしている。AW利用者には、初回のみ登録料が必要になった。We  
 ekday 料金は従来通りだが、国民の休日は\$2アップ、とした。

Accept Visitors July 2012 – June 2013

Category	Rope?	Age				Note
		Over 17	17-12	11-4	Under 4	
Rope Climbing	Top Rope	○	○	○	×	*If you are younger than eighteen years of age, you must submit an agreement letter from your parent or protector. *If children under twelve years of age wish to use the wall, they should be accompanied by their parent or protector.
	Lead	○	○	×	×	
Bouldering		○	○	○	○	

Everyone should be done registration! It takes about 15 minutes.  
 Everyone should be completed reading, understanding, signing, on waiver and registration form before the commencement of activity

• First time visit

The list of Climbing Charge July 2012 – June 2013

Who?	Climbing Charge(Morning or evening)				NOTE
	Over 17	17-12	11-4	Under 4	
First time visit with registration	\$10	\$5	\$5	\$4	*If you are a perfect beginner, you able to get our lesson for experience course.
Next visit and after, on weekdays	\$3	\$2	\$1	-	*Everyone's visitors should bring AW-ID card after first visit
Next visit and after, on weekend, holiday	\$5	\$3	\$2	\$1	*Everyone's visitors should bring AW-ID card after first visit
One time try experience without registration	\$8	\$4	\$4	\$2	*Good for only one time try.

※If you need a belaying partner, we provide and you should pay plus \$3 for rent a belay device only over 11 years old.

※A case of the Group fun climb, please ask freely our staff.

The list of rental gear charge July 2012 – June 2013

Who?	Climbing Charge				NOTE
	Over 17	17-12	11-4	Under 4	
Harness	\$3	\$2	\$1	×	
Shoes	\$4	\$3	\$2	\$1	
A set of Harness & Shoes	\$5	\$4	\$3	×	
Chalk bag	\$3	\$3	×	×	※All of visitors may use Gamman chalk bag for free.
Belay—device (*1)	\$3	\$3	×	×	※Only for the experienced climber
Quickdraw set(4)	\$3	\$3	×	×	※Only for the experienced climber
Rope(*2)	\$5	\$5	×	×	※Only for leading and the experienced climber

※Attention to a Kimer

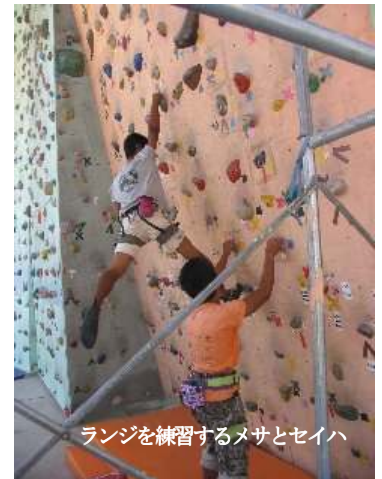
Basically, Though all free for individual Kimer without any groups, sponsors, patrons.

We have limitation of the number is 20 as free Kimers in a day, then sometimes it may not use when Free-Kimers already full on you visit us.

Or you can use our facility because of you paid the formal charge.

The list of Lesson for Climbing July 2012 – June 2013

Class	Course	Abstract	Number of Participants	Number of Times	Charge/Person		
					Over 17 age	17-12 age	Under 12 age
Private	<b>Experience Course</b> *for all beginners. All equipments provided, registration fee included	— Try to climb for about 5.10 and under by the top rope — Belay for Top rope climbers, and get to use the belay device by exactly	—	2HRS/once 1-2 times	\$30 *\$20/once	\$20 *\$15/once	×
	<b>Introduction Course</b> *Wants to learn for all climbing technic on the artificial wall. All equipments provided, registration fee included	— Master climb for about 5.10 and under by the top rope — Belay for Top rope climbers, and get to use the belay device by exactly — Plus Advanced lead climbing 5.10 and under on artificial climbing wall — Belay for lead climbers on artificial climbing wall — You must take the our private lesson three to five times. It is depend on your improvement.	—	2HRS/once 3-5times	\$80 *\$20/once	\$50 *\$35/once	×
Workshop	<b>Experience to Climbing Workshop</b> *for all beginners. All equipments provided, registration fee included	— Try to climb for about 5.10 and under by the top rope — Belay for Top rope climbers, and get to use the belay device by exactly	minimum 4	4HRS	\$20	\$10	×
	<b>Introduction to Climbing Workshop</b> *All equipments provided	— Master climb for about 5.10 and under by the top rope — Belay for Top rope climbers, and get to use the belay device by exactly — Plus try for advanced lead climbing 5.9 and under on artificial climbing wall — Belay for lead climbers on artificial climbing wall	minimum 4	4HRS	\$40	\$20	×
Fun	Family fun climb	※Ask freely our staff We make a budget, let's us know numbers, age, nationality, etc..					○
	Group fun climb *School or like some	※Ask freely our staff We make a budget, let's us know numbers, age, nationality, etc..					○
	Kids Group *Under 12 age	※Ask freely our staff We make a budget, let's us know numbers, age, nationality, etc..					○



ランジを練習するメサとセイハ



ランジを練習するモニイ

# 2011 会計年度決算報告 2011/7/1～2012/6/30

2011 年度の決算書より、「損益計算書」のみを下記に示す。なお、すべての決算書及び事業報告書は、[www.angkorclimbers.net](http://www.angkorclimbers.net)より参照出来る。

科目	金額
[経常収支の部]	
(事業収支の部)	
【収入高】	
一般寄付金	¥1,205,847
一般会員年会費	¥5,000
人工壁利用者寄付金	¥83,588
オリジナルグッズ売上寄付金	¥5,912
事業総収入	¥1,300,347
【一般管理費】	¥1,939,392
事業損失	¥639,045
(事業外収支の部)	
【事業外収益】	
受取利息	¥16
【事業外費用】	
経常損失	¥639,029
当期損失	¥639,029
前期繰越損失	¥1,021,802
当期末処理損失	¥1,660,931

※2012/6/30 のレートを適用しすべて円に換算している

## 活動報告 2012/4～8

### ●AW 再生カンパ及びYCF関連の広報

YC 開催関連のアナウンスと AW 再生カンパを訴える記事を、下記の雑誌、及び Web サイトで掲載している。

- ・(雑誌) 登山時報7月号、山と溪谷7月号、岳人 9月号、Rock & Snow9月号(予定)、登山時報10月号(予定)
- ・(Web) JWAF ホームページ、ACN・Facebook ページ

### ●ACN-YOUTH関連

#### 保護者面談

OWNリスクの理解と承認の得られていない ACN-YOUTH メンバーの家庭訪問を、スムロン、伊藤で順次実施。6月にチャンダ(女子15才)の母上と面談、合意を得られた。7月よりインストラクター・インターンとなり、これまで受けていた ACN 奨学金を停止、今後は ACN より報酬を得るモニィ、テビィの保護者面談を実施、理解を得た。

### ●AW関連、補修工事

#### ◆バナー設置

前記、AW再生カンパ募集とAW利用料の改訂について大型バナーをAW入口に掲示した。

#### ◆コンパネボード一部更新

8月、劣化の激しいコンパネボードを14枚更新した。

### ●MS. Geraldine(ジェラルディン)登場

シンガポール国際基金常務理事・MSジェラルディンが、伊藤の英文校正をボランティアで引き受けている。また同氏は、同じくボランティアで、ACNのFacebookページを立ち上げ、管理も担当。スムロン、キムスロイのシンガポール・コンペ・スタディ・ツアーも同氏の世話ですべて実現した。YCFにもシンガポールのコンペナショナルチームのクライマーが臨時講師として駆けつけてくれる予定。MSジェラルディンの紹介はあらためて。

### ●シンガポール・コンペ・スタディ・ツアー

6/12～6/19 の8日間、スムロンとキムスロイの2人をシンガポールへ派遣した。コンペのオーガナイズを学んでもらうためだ。二人は 6/15～17 に行われたボルダリングコンペPUMPFESTAで、会場の準備、実施(2人は選手として出場もした)、後処理まで一通り、運営リーダー(SCA・Mr. Ben Toh)から指導を受けた。

### ●NOCC(カンボジア・オリンピック委員会)へのプレゼン実施



ブノク crom でロープワーク練習



メサ、鬼のクライミング

2012年5月、【日本政府関連諸機関への支援要請の提案】についてのプレゼンをNOCCへ提案するレターを伊藤が書き、スムロンがNOCC事務局長ヘントン氏へ渡した。プレゼンは2012年7月5日実施と予定されたのだが、最終的には1週間早まって、6月30日、プノンペンのNOCC会議室にて実施された。なお、CCFは設立後間もないため、運営実体がない。従って、ACNがCCFの下位団体として代行、スムロンと共同で行った。また、当該レターも日本語(伊藤)→英語(本郷)→ヒア(クメール語)と翻訳し、さらにCCF代表ウンスレディの承認を得るといったステップを経て実現した。プレゼンターは伊藤、その通訳としてヒア、専門用語の説明にスムロンが担当した。

### ●NCCC(ニュー・チャイルド・ケア・センター)のクライミングからの撤退について

2011年4月、それまで連続してAWでクライミングを続けてきたNCCCの孤児たちが、NCCCの運営上の問題からそれが出来なくなった。ACNが負うべき責任を調査するため2011年10月、運営を担当していたNGOの代表、かつACN運営顧問である松本清嗣(MATSUMOTO KIYOSHI)にインタビューを行った。結果、直接的な原因は会計上の問題と考えられた。しかし、クライミングの撤退とその結び付きが見えなかった。その後、現在のYOUTHの保護者への面談を通じて、クライミングを普及させようとする私たちの身勝手な考え方に気が付いた。何よりもクライミングがまず人々に、健全なスポーツであると認識されなければならない。その過程を飛び越えて、オウンリスクの理解を保護者に求めた。NCCCの撤退は様々な面で私たちに教訓を与えた。

## From ACN's Desk : 事務局から



7/8のトレーニングコンペ

### ・AW再生カンパのお願い

すでに周知のようにAWは、この2年半で目に余るほど傷んで来ました。子供たちが安心してクライミングを続けられるように、そしてもっと大勢のひとたちがクライミングを楽しめるように作り直さなければならないと決意しました。現状は資金の制約から短期利用限定のコンペ仕様を余儀なくされたのですが、再生版は長期利用を想定した堅固な鉄骨造とし、特大の屋根で全体を覆う半室内型とします。工事には約500万円を見込んでいます。あてがあつての話ではありません。しかし何とかして実現したい。とはいえ私たちだけの力では限りがあります。どうか皆様の暖かいご支援をお願いします。なお、AWの再生計画は2012年12月16日に開催するコンペ、「アンコールカップ2013」を中心としたトータルイベント、YCFの終了後にスタートする予定です。

(※)詳細は [www.angkorclimbers.net](http://www.angkorclimbers.net) に掲載します

### ●寄付のお願い

目標額:500万円、目標期限:2013年3月31日

寄付金(日本円のみ)専用口座 口座名: アンコールクライマーズネット

・三菱東京UFJ銀行 支店名:調布支店 預金種目:普通預金 口座番号:

0081781

・ゆうちょ銀行 記号:10010 番号:75286831

※他銀行よりの送金の場合

店名:〇〇八(ゼロゼロハチ=漢数字)、店番:008、預金種目:普通預金、

口座番号:7528683

※USドル専用口座は、現在準備中

### ・寄付・寄贈について

2012/8/31 現在までの、寄付金累積総額は、¥3,996,873 + US\$7,390 となりました。

また、里親基金累計総額は、¥1,360,000 +US\$1,250 です。

ご寄付をいただいた方59名様、ご寄贈いただいた方20名様、及び里親となつていただいた方は4名様となっています。大変ありがとうございました。

2012年4月～8月までに、ご寄付、ご寄贈、里親出資いただいた方は下記の通りです。なお本お知らせは、email版ニューズレターと連携して対応する期間に寄付された方のお名前だけを本誌にて、順次お知らせしています。

#### 一寄付

浅田信一郎様、榎田猛彦様、虎本節子様、高橋千鶴子様、林武子様、石川賢三様、小枝琢三様、井芹昌二様、中江恵美子様、パウダーガイド社様、栗原俊雄様、安田至宏様、鴨志田智也様(順不同)

#### 一里親

堀田圭子様、才原明男様、棚澤健治様、清水不二様(順不同)

#### 一備品寄贈

(株)ロストアロー様、(株)モンベル様、中江恵美子様、森山議雄様、安田至宏様、清水不二様、小林光子様、堀田圭子様、伊藤洋美様(順不同)

本郷絵里子様、MSジェラルディンには、公式資料類の英文化、英文校正をボランティアでやっていただきました。ここに記して感謝いたします。



雨の日でも登るスイス人、コニーさんのファミリー

★★★ 寄付金用口座 ★★★

■ゆうちょ銀行

記号 10010  
番号 75286831  
口座名 アンコールクライマーズネット

■三菱東京UFJ銀行

支店名：調布支店  
預金種目：普通預金 口座番号：0081781  
口座名：アンコールクライマーズネット

Webサイトでもご確認出来ます  
[http://www.angkorclimbers.net/can\\_donation.html](http://www.angkorclimbers.net/can_donation.html)

☆☆☆ アンコールクライマーズネット連絡先 ☆☆☆

■アンコールクライマーズネット（日本）  
伊藤忠男気付  
〒182-0025 東京都調布市多摩川5-3-1-506  
tel. & fax +81-(0)42-498-2488

■アンコールクライマーズネット（カンボジア）  
Angkor Climbers Net (ACN)  
tel. +855-(0)77-508653, +855-(0)12-1759970

・郵便住所  
POBOX 93044, Siem Reap, Siem Reap, Cambodia

・所在地  
c/o Moloppor Café  
Wat Bou village, Salakomrauk commune  
Siem Reap, Siem Reap, Cambodia

■ email [info@angkorclimbers.net](mailto:info@angkorclimbers.net)



ACN最年少スーン・チャン →

スーンチャンはAWの隣に住んでいる。とても英語がうまい。弟と一緒に2年前浅井和英君にクライミングを教えてもらった。でも弟はクライミングが怖いらしい。

← スリングスネーク

野生の王国！！猫のポチが覗み合っているのは、5mm スリング程度の太さしかない蛇。蛇の方が強そうな気がしたが、違った。ポチは踏みつけたりかじったり。



contents

- 01 トレーニングコンペ、お知らせ：YCF開催
- 02 YCF概要
- 04 新年度体制
- 06 2011年度決算報告
- 2012年4~8月 活動報告
  - 広報関連
  - AW補修
  - シンガポールコンペスタディツアー
  - ACN-YOUTH
  - その他
- 07 From ACN's Desk 事務局から

editor's note

10号をお届けします。今号はYCF開催特集です。来年度のAW再生へ向けて様々な人々、団体、企業からの支援がゆっくりですが、確実に集まっています。ありがとうございます。カンボジアオリンピック委員会の動きにもクライミング普及への兆しがあります。クライミングがこの国に根付きかけているのは間違いありません。先頃、今年の12月に開催するAngkor Cup 2013を押しつけるようなクライミングイベントの企画が、オリンピック委員会から上がってきました。私たちは性急を危惧しますが、この興味深いオファーをどう扱うか、しっかりしないと。(Chu)

©禁無断転載

アンコールクライマーズネットニュースレター

2012年8月号 NO.10 2012年8月31日発行

非売品

発行人 伊藤忠男  
編集人 伊藤忠男  
発行 アンコールクライマーズネット (Angkor Climbers Net)  
〒182-0025 東京都調布市多摩川5-3-1-506  
tel 042-498-2488 fax 042-498-2488  
[www.angkorclimbers.net](http://www.angkorclimbers.net)

※写真、地図、イラストはすべてACNオリジナルコンテンツです